



石黒市長と埔里市訪問団(左から7人目が馬市長)のみなさん

## 台湾埔里市訪問団来訪

5月5日より秋田県を訪問していた台湾南投県埔里市(なんとうけん・ぷーりーし)馬文君市長他11名の訪問団が、8日市役所田沢湖庁舎を訪れ、石黒市長をはじめ市内外の商工関係者との意見交換を行いました

埔里市は台湾のほぼ中央、南投県の四方を山に囲まれた盆地に位置し、面積162平方キロメートル、人口約87,000人、年平均気温23℃の温暖なまちです。

産業は、農産物では花き、竹、お茶、きのこ、山菜、馬鈴薯<sup>ばれいしょ</sup>の生産が盛んで、特に花きは台湾有数の高級花の産地となっており、「花の故郷」と言われています。また、日本に輸出される紹興酒のほぼ全量が埔里市で生産されています。観光面では、温暖な気候と豊富な農産物を特徴として、台湾全土はもとより海外からのロングステイ(長期滞在者)の受け入れに力を入れています。

意見交換を前に馬市長から「秋田県の美味しい物産をたくさんいただき感激した。今年の12月には、12年に1回のお祭りが開催されるので、是非とも皆さんに来ていただきたい」とあいさつがありました。

意見交換会では国際教養大学の勝又教授をコーディネーターに、両市の観光、文化、教育に関する交流、物産及び農産物交流、ロングステイを話題に、予定時間を経過して2時間にわたり活発な意見が交わされました。両市はこれを契機に相互の農産物や観光交流、人的交流を実現できるよう協議をしていくこととしました。



意見交換会の模様

## 東北ファースト・ランinかくのたて



横町橋付近を通過する参加者

カヌー愛好者を対象に角館町の桧木内川(古城橋下流)から、大仙市長野大橋までの約9キロの、カヌーやカヤックによる川下りが、仙北市カヌー協会の主催により4月27日(日)に開催されました。このイベントは、旧角館町と旧中仙町が桜まつり期間中の行事としてスタートした大会で、去年は国体等の関係で休みましたが、今回は通算で17回目となりました。

県内や隣県より60名の参加者がありました。参加者からは、「桜が散った後で残念」の声が聞かれましたが、春一番の川下りをそれぞれに楽しんでいました。

## 次の停車は「さわやか桜停留所」です

西長野にある老人ホーム「さわやか桜館」の玄関は、4月からスクールバスの停留所になりました。この停留所は、これまで西長野小学校に通っていた子どもたちが、角館小学校への登下校に利用しています。桜館の玄関は、国道から少し離れていて、自動車の交通を気にせず乗り降りができるので、とても安全で、そして、大きな屋根があるので、天気が悪くてもへっちゃらです。

この度、桜館施設長のご厚意で、停留所看板が出来ました。施設長手彫りの看板で、製作期間は1週間程度とのことでした。

あしながおじさんからの、とってもステキな贈り物に、子どもたちは大喜びです。

